

目標達成計画

作成日: 平成 24年 12月 9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	2ヶ月毎に運営推進会議を開催し出席者へ報告、意見や情報交換をしているが、地域との交流をより深めていく必要がある。	地域との交流を深めていくためにも、地域の代表として地区長の参加依頼を検討する。	西端区長へ参加の依頼を検討する。	6ヶ月
2	35	避難経路の廊下に非常持ち出し品として、アルミ製の救急箱が置かれているが、非常時において現状のものでは持ちにくく壊れたり危険となる。	非常持ち出し物品の内容を検討し、避難の際に壊れたり危険のないよう、持ちやすく安全な形状の物を用意する。	非常持ち出し物品で本当に必要なものを検討、バックに用意し玄関に配置する。また救急箱に関しては、持ちやすくクッション性のある袋状の物を用意する。	6ヶ月
3	49	グループホーム全体としての外出支援は行われているが、日常的な外出や本人の想いに沿った外出支援が少ない。	短時間でも戸外に出て外気に触れる機会や本人の想いに沿った外出支援をしていく。	お墓参りや買い物、散歩といった本人の想いに沿った外出支援をしていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。